

事前評価個表

整理番号	15
------	----

地域（地区）号	<small>せんだいがわ</small> 千代川	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	鳥取県	対象市町村	<small>とっとりし</small> 鳥取市ほか4町
事業実施期間	H29 ~ H33（5年間）	事業実施主体	県、市町、森林組合、森林所有者等

事業の概要・目的	<p>本地区は、鳥取県東部に位置し民有林面積は105千ha（森林率は79%）と県内で最も森林率が高い地域である。うちスギを主体とする人工林54千ha（人工林率54%）はⅩⅡ齢級をピークとした構成となっており、適期の森林整備が求められている。特に千代川上流部には、智頭町・若桜町といった古くからの林業地があり、林齢の高い森林が多い。本地区は素材生産から加工・流通に係る拠点施設の整備が進み、県産材の産地化が期待されている。また、これらの森林は鳥取市等下流域の重要な水源地域となっている。</p> <p>本地区においては、長期にわたる人工林の造成により森林資源は着実に増加してきている一方で、木材価格の低迷や森林所有者の高齢化等に伴い手入れが行き届かない人工林が増えているため、木材生産に加え、水源の保全や土砂崩壊の防止など森林の持つ公益的機能の発揮に向けた継続的な森林整備が必要である。</p> <p>本地区では、間伐等の森林整備及び作業道等の基盤整備により良質の木材生産と同時に森林の有する多面的機能の持続的発揮を目指すとともに、他事業と連携した間伐材の利用を推進し、地域資源の有効活用と地域の振興を図る。</p> <p>このため、千代川地域森林環境保全整備事業計画を作成し、これに基づき、意欲と実行力を有する林業事業者等による、集約化された計画的な森林施業の実施を促進する必要がある。</p> <p>具体的には、本計画に基づき、搬出間伐や再造林等の森林整備及び効率的な施業に不可欠な路網整備を一体的・計画的に実施する。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：5,910ha 人工造林、下刈り、雪起こし、枝打ち、除伐、間伐等</p> <p>路網整備：350m 林業専用道</p> <p>総事業費：3,306,840千円</p>
費用対効果分析結果	<p>B/C = 4.51 (総便益 (B) = 20,252,086千円、総費用 (C) = 4,491,936千円)</p>
評価結果	<p>必要性：保育対象林分の賦存状況、森林整備の緊急性等から見て必要性が高い。</p> <p>効率性：費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</p> <p>有効性：健全な森林づくりによる水源涵養、国土保全等の森林の公益的機能の確保はもとより、将来の優良材の安定的生産にとって有効である。</p>

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名:森林環境保全整備事業




都道府県名:鳥取県

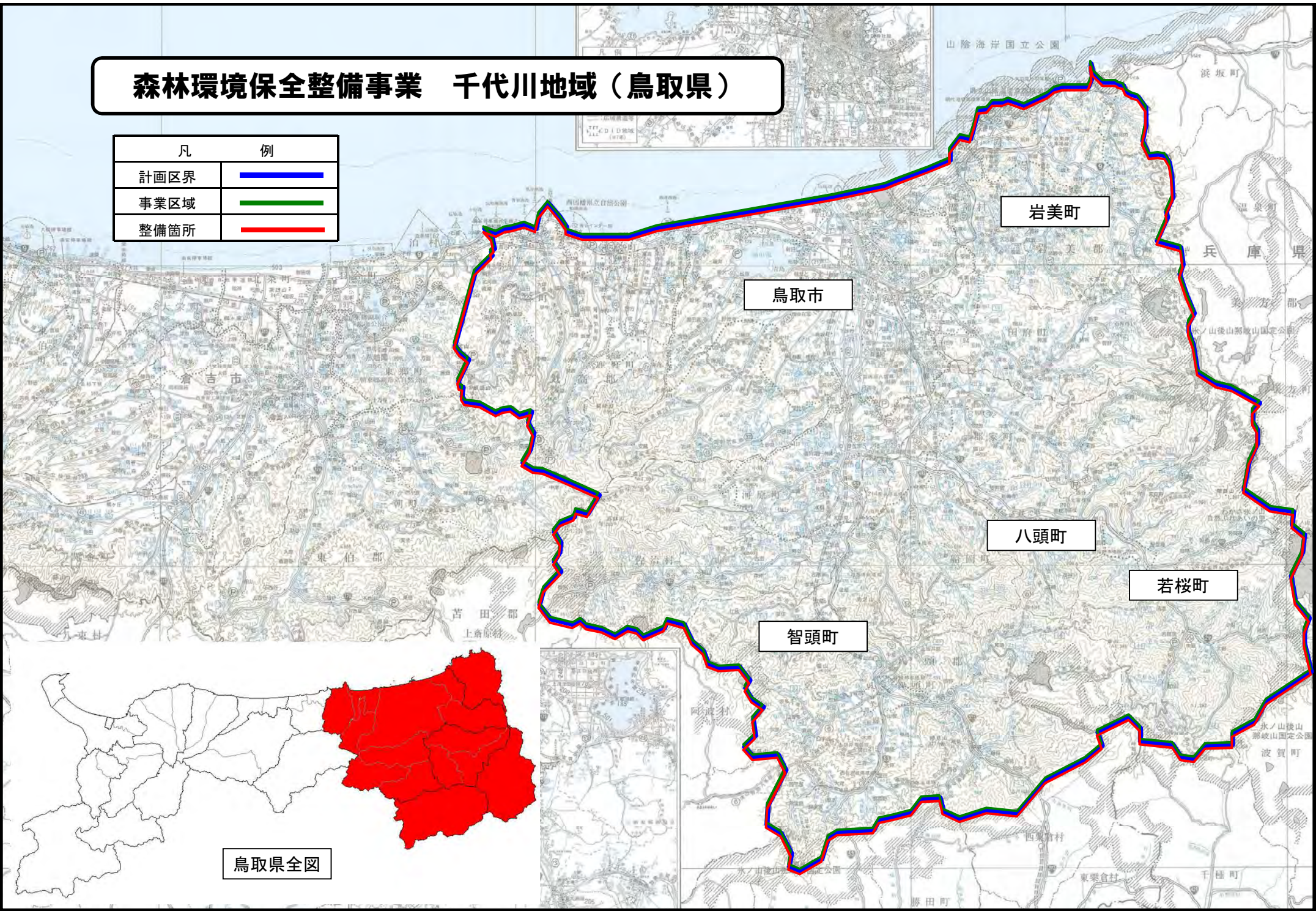
地域(地区)名:^{せんだいがわ}千代川

(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	5,560,790	
	流域貯水便益	1,724,017	
	水質浄化便益	3,666,999	
山地保全便益	土砂流出防止便益	5,716,532	
	土砂崩壊防止便益	10,794	
環境保全便益	炭素固定便益	2,208,454	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	586	
	木材利用増進便益	1,129	
	木材生産確保・増進便益	1,244,099	
森林整備経費縮減等便益	森林管理等経費縮減便益	146	
	森林整備促進便益	118,540	
総 便 益 (B)		20,252,086	
総 費 用 (C)		4,491,936	
費用便益比	$B \div C = \frac{20,252,086}{4,491,936} = 4.51$		

森林環境保全整備事業 千代川地域（鳥取県）

凡	例
計画区界	
事業区域	
整備箇所	



鳥取県全図